

3月はアルミ・銅どちらのくずもタイトに

橋本健一郎氏(橋本金属)は、3月の銅とアルミの原料需要と価格の見通しについてレポートをまとめたので紹介する。

上海シグマが3月現在で2,550ドルと前月から上昇し減少調達難が予測される。また2011年1月中国新車販売台数が過去最高の190万台と米国の約2倍、日本の10倍との報道を受けてアルミ需要増期待が台頭、米、中、韓、日での原料争奪戦から原料ひっ迫へ。

LME価格については3月の中国全人代での12次5カ年計画の中で金融引き締め策への警戒から2,500-2,650ドルを予測。

アルミスクラップに関しては2-4月期の自動車生産計画が堅調なをうけて、世界的なスクラップ不足=ベースメタルの上昇から前月に続きスクラップ価格は上昇する。1月後半価格から10-15円上げ予測。

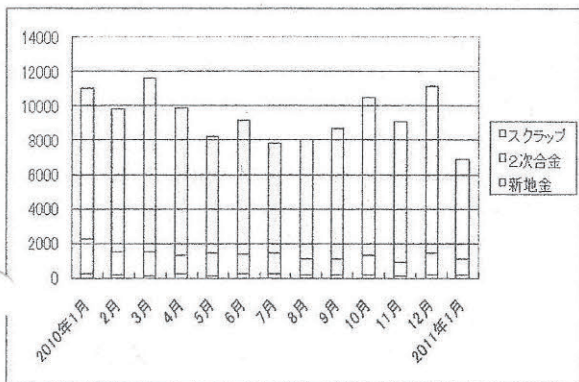
銅(地金・くず)の輸出入に関してはLMEが1万ドルを超える上昇トレンドの中、さら

に旧正月もあり中国バイヤーの高値警戒感が台頭し購入を抑制、そして輸出分が国内へ回帰したため輸出減となったが国内発生減や意外に好調な自動車生産を背景に輸入増となった。

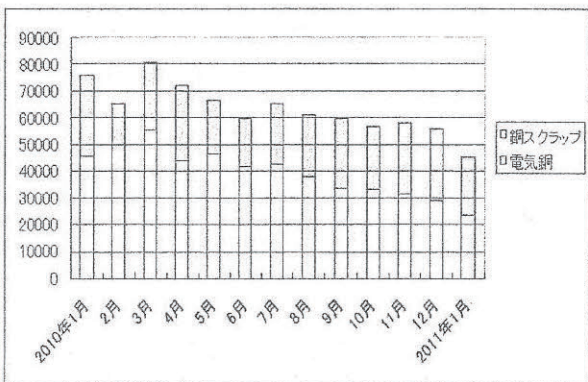
銅原料需要に関してメーカーは、当用買いの副作用からか、在庫は薄くなりつつある。銅価格は鉱石不足による供給懸念や、3月の中国全人代での需要増期待があるが中東情勢を受けて各国のインフレへの警戒感からの金融引き締め感の台頭からLMEに関しては下値9,300ドル上値1万500ドル。銅・銅合金スクラップに関しては銅建値で81-90万程度と予測している。

アルミ・銅 高価買受

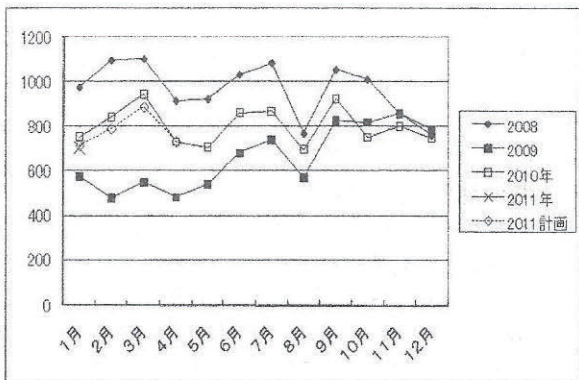
柳金属産業(株) ☎072-770-3582
日刊金属を見たとお申しつけ下さい



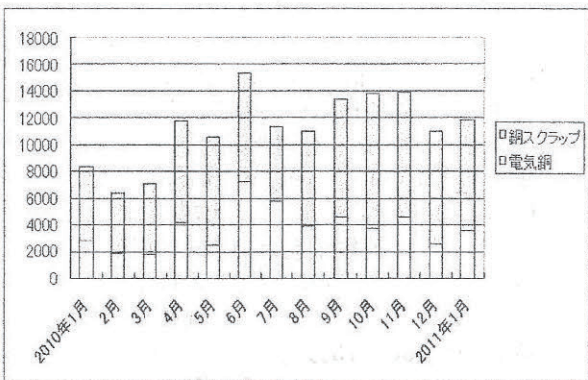
アルミ輸出



銅輸出



自動車生産実績計画



銅輸入